



多可子どもタイムズ

2016
年度

2017.3.01 平成28年度 36号

発行：多可町教育委員会 〒679-1114 多可郡多可町中区岸上224-17
TEL : 0795-32-2816 E-mail : kodomo@town.taka.lg.jp



表紙写真 中町中学校



おもな内容

- ・ピックアップ学校園
- ・あったかトピックス

四恩こども園

テーマを持って挑む
「冒險の旅」

3歳

4歳・5歳の大きい人たちは電車に乗ってへそ公園へ行くんだつて！」

行きたい！行きたい～～～！」

①電車に乗るには、もうちょっと大きくなつてからだね…

いやだ！行きたい！」

①じゃあ、みんなのカレーを作つて園バスに乗つて、届けに行く？

【カレーを作つて、へそ公園へ】



今日のカレーは特別！

頑張って作つてへそ公園へ行く！

届けるよ～♪

出来た！

5歳

自分の切符！



ちゃんと座ってる？
5歳さんが見てくれる。

3月、自分で切符を買い、路線図を見ながら作った手作りのしおりを手がかりに、JR・山陽電車・市バスに乗り換え、電車の旅に出発する5歳児。これまでの経験が活かされる卒園の旅。さて、どんな感動が待っているのでしよう。

少し難しいこと、困ったこと、思うようにならないことなどに出会い、考え、挑戦し、努力し、子どもは大きく成長します。子どもらしい素直な感動と、次のステップへの自信の表情を見せてくれます。

4歳
『電車に乗つて、へそ公園へ』

3歳のときは乗れなかつた電車に4歳になつたら、乗れる？

・笛の合図で集合する。

・公共のマナーを身に付ける。

・自分の持ち物の準備・片付けは自分で出来る。

・出来ない事、わからない事は5歳さんに教えてもらつ。

ちゃんと約束守つて

行けるかな？

地域の高齢者や祖父母との交流

祖父母との交流

いを楽しむことができ、とても素敵になりました。

キッズランドかみでは、地域の高齢者の方々や祖父母との交流を大切にしています。施設の訪問や、交流活動を行つたり、祖父母ボランティアの方には、サツマイモの苗植え芋ほり、焼き芋大会、とんどなど、様々な園行事に協力していただいたりして、子どもたちを支えてもらつています。

これからもこのようない交流を通して、のびのびと楽しそうな子どもたちの姿や、元気な笑顔をお届けできればと思います。

キッズランドかみ

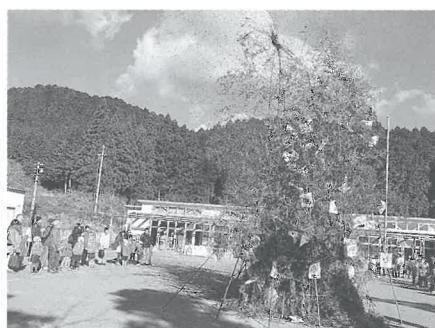
前日に祖父母ボランティアの方に大きなとんどのやぐらを作つていただきました。当口、祖父母の方と一緒に「健康で長生きできますように」という願いを込めて、みんなで火にお尻を向けて温めました。

その後、こま回しやカルタ、羽つきなどの昔遊びを一緒に楽しみました。あたたかい雰囲気の中でお父さんやお母さんとはまた違つた触れ合

みんなで一緒にゲームをしたよ☆



カルタとり負けないぞ～！



核家族化が進み、高齢者や祖父母と関わる機会が少なくなつてきていて、子どもたちにとつても世代を超えた交流は大切な経験であり、交流を通して、思いやりの心や優しい心が育つているように感じます。



中町南小学校

木の実や葉など拾い集めて、アルミニウムに包み、炭焼き用の缶につめ、飾り炭づくり



木の実や葉など拾い集めて、アルミニウムに包み、炭焼き用の缶につめ、飾り炭づくり

中町南小学校では、3年生の児童が、なか・やちよの森公園を活動拠点として「環境体験学習」に取り組んでいます。

公園のスタッフのみなさんにお世話になり、さつまいもの植え付けや収穫の体験をはじめ、自然の中でも様々な植物や虫などとふれあうプログラムを行っています。活動を通して児童は自然の美しさ、大切さなどを学んでいます。

なか・やちよの森公園となかよくなろう

3年生環境体験学習

木の実や葉などを拾い集め、アルミニウムに包み、炭焼き用の缶につめ、飾り炭づくり

木の実や葉などを拾い集め、アルミニウムに包み、炭焼き用の缶につめ、飾り炭づくり

☆本年度の活動紹介
・さつまいもの植え付け体験

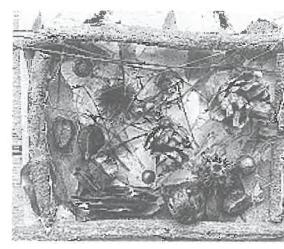
小石を取り除き、土を盛り上げ、平らにして、うねぐくりを体験しました。慣れない道具に四苦八苦、なんとか苗を植えることができました。慣れたさつま芋を収穫することができました。

木の実や葉などを拾い集め、アルミニウムに包み、炭焼き用の缶につめ、飾り炭づくり

他にもフィールドビンゴや森の妖精づくり、自然のカムフラージュを見破るなど里山とふれあう活動に取り組みました。



これらの活動を通して、里山の様々な自然の恵みや楽しさを味わうことができました。児童の心に、里山を守り、自然を大切にしていくことの気持ちが芽生えてきました。



炭にする活動です。火おこしは、マッチをすつたり、薪を足したり、風を送ったり、煙が目に入りたいへんな作業でした。できあがった炭をフレームに貼り付け立派な作品に仕上げることができました。児童は、こんなものが炭になるのかと驚きながら、こわれないように大切に扱っていました。

松井小学校



伝統の松井小カレンダーブル

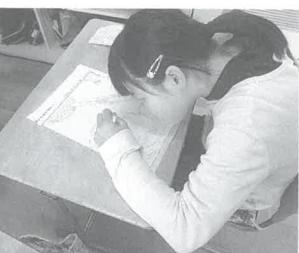
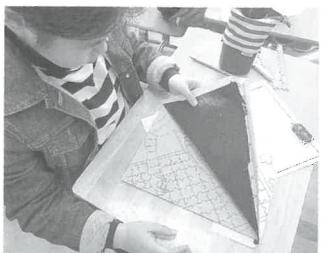
松井小学校では、昭和55年から毎年児童の版画作品を刷った松井小カレンダーを作成しています。昭和61年からは、地域の誇る杉原紙を使うようになりました。形を変えながらも、この松井小カレンダーブルの取り組みも38年目を迎えました。

4年生以上の児童は、それぞれ自分が彫った木版をカレンダー一台紙に刷って、世界に一つの自分だけのカレンダーをつくります。3年生以下の児童もこの時期に合わせて紙版画をします。

また、学校にご支援・ご協力いただいたボランティアさんや関係機関に、児童の手書きのお礼の手紙を添えています。



カレンダーは2月中旬に刷り、お届けするカレンダーは3月上旬に完成する予定です。



えてこの松井小カレンダーをお届けする取り組みも長年続けています。年間一枚のカレンダーになってからは、杉原紙に6年生児童2名の代表作品を刷り込んだカレンダーをお届けしています。全校生徒でお世話をなったお礼を手紙に書き、3年生がカレンダーに手紙を添えリボンをかけて、4年生以上の児童がお届けします。今年も各学年で版画制作の取り組みを始めました。今、児童は下絵を版木に写したり、彫ったりの作業に取り組んでいます。来年度の個人の



**最後の1枚まであきらめません！
キラキラ笑顔が輝いていました**

日本の伝統文化に触れる

百人一首大会

新年を迎え、気持ちも新たに3学期のスタートを切った生徒たち。日本文化に触れようと、百人一首大会を行いました。3年生は各クラスで、1・2年生は学級対抗で対戦しました。百人一首大会では、冬休みに「百人一首を覚えてくる」という宿題があつたこともあり、上の句が詠まれた瞬間に札を取る生徒もたくさんいました。

**1年生は坊主めくりも行いました
「やったー!!」「ああ～…」という声に包まれました**



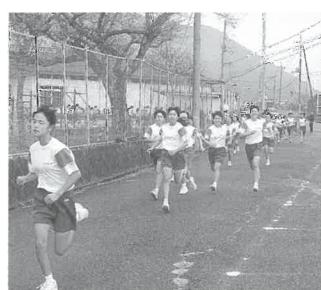
多くの生徒では50枚近くの札をひとりで取っていました。百人一首大会が終わったあとの生徒たちからは、「もっとやりたい！」という声がたくさんあがり、楽しみながら日本の伝統文化に触れる機会が少なくなっています。



校内マラソン大会



12月20日、寒空の下、校内マラソン大会が開催されました。マラソン大会までに、体育の授業や部活動などで、本番コースを何度も走りました。【昨年の自分を越える】ことを目標に、男子は5キロ、女子は3.4キロを走りきました。



練習の成果を発揮できた生徒も、できなかつた生徒も走り終わった後の表情は明るく、充実感や達成感を感じ取ることができました。また、自分が走り終わつた後も、友達の走りを応援する姿や、走り終わつた友達にタオルを渡してあげるなど、思いやりのある行動を見る 것도できました。

保護者の方や地域の方に沿道で応援していただき、生徒たちも大きな励みになつたと思います。今年もたくさんの方に協力していただき充実したマラソン大会になりました。

加美中学校



ピックアップ

県立多可高等学校

多可町内のいろいろな施設には学
校通信「田田新」が掲示されていま
す。多可高の授業や行事の様子を力
ラフルな写真で報告しています。

「あ、がんばってるな。」
いつも見守つていただいている地
域の皆様の声が多可高生の励みに
なっています。

多可町内のいろいろなイベントで
多可高生がボランティア活動に取り
組んでいます。和太鼓演奏、模擬店
での販売、スポーツ大会の補助、学
習サポートなど、それぞれが自分
にできることで誰かの役に立ちたい
といつ気持ちで参加しています。

多可町内のいろいろな施設には学
校通信「田田新」が掲示されていま
す。多可高の授業や行事の様子を力
ラフルな写真で報告しています。家
族や親せきや近所のよく見知った子
たちが、地域でいきいきと活動する
様子を、ぜひご覧になつてください。



タイ王国との交流や香港への
修学旅行で国際感覚を養います。



小学校との交流にて
「将来は絶対先生になりたい。」

就職を希望する生徒には教職員だ
けでなくPTA合同面接指導を実施
する等、学校全体で支援し、就職先
を決めることができました。
これからも、生徒、教職員が「チー
ム多可」として、一丸となつて頑張
ります。

あったかトピック



あったかトピック



■第5回多可町
「カブキズたか」出演
子ども芸能祭に



とき 11月13日（日）
ところ ベルティーホール
外題 傾城阿波鳴門
どんどう大師
お「おつる別れの場」
頑張ってきた練習の成果を見事に
に発表しました。



北播磨地区の小学（5・6年）
中学生が集まり、カードゲーム
を通して防災、減災を考え交流
を図りました。



とき 12月18日（日）
ところ ベルティーホール
講師 浜 尚美
テーマ 考えよう。いざというと
きの自分、ゲームを通じた防災への備え

■第7回北播磨地区
「子ども会議」

あつたかトピック

あつたかトピック



ところに12個の玉の注文がきました。今回は弟子に任せたところ、12個のうち1個だけ他の玉と重さのみ異なる不良品ができ、他の玉に混ざってわからなくなりました。怒った名人は両天秤を3回だけ使ってその不良品を見つけなければ破門だと弟子に告げました。弟子はこの難問を無事クリアし破門を免れました。どんな方法でしょうか？

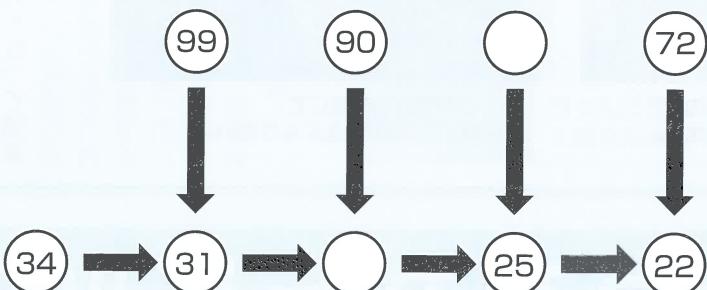
問1

小学一年生から大人の方までの36名が参加。ストロー笛での実技実験と難問奇問に挑戦しました。今年度の出題問題に皆さんも挑戦してみて下さい。

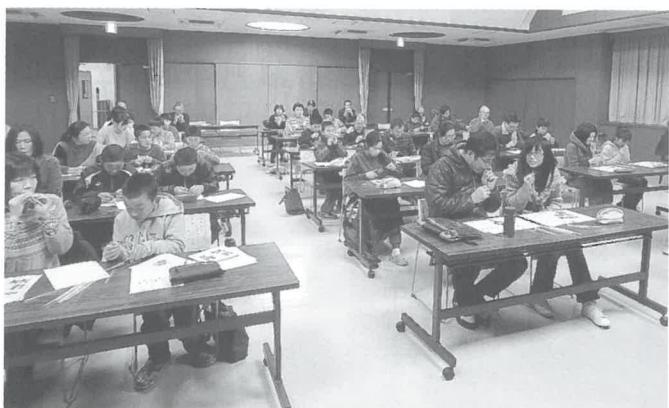
とき 1月7日（土）夜7時～9時
ところ 八千代プラザ 大ホール
参加費 無料
講師 白井三平（大阪大学名誉教授）
足利 正（東北学院大学教授）
大渕 朗（徳島大学教授）
遊佐 毅（兵庫県立大学准教授）

次の○にはある規則で数字が入っています。その規則をみつけて数字が書かれていらないところを埋めましょう。

問2



その他の出題問題並びに解答は、多可町教育委員会のHPに掲載しています。来年度も開催予定ですので、多くの方の参加をお待ちしています。



ご意見・ご感想をお寄せください。

（問い合わせ先）多可町教育委員会こども未来課 TEL：0795-32-2385 FAX：0795-32-4318